

2015 年度 11 月度 技術士 C P D ミニ講座（第 63 回）の講座のご案内
近畿本部から各地域本部へ WEB 発信

テーマ：「極端化する気象とそのメカニズム及び気象災害の予知と減災について」

今年もまた近年の気象の異常さが増幅される傾向にあり、それに伴う各種の災害が発生している。

前半ではその背景やメカニズム、気象の予知技術の進展状況、さらに避難等の広報のあり方について検討する。

後半では、地質調査分析及び土砂災害防止の観点から、豪雨による斜面崩落災害のメカニズムを歴史的観点から解きほぐし、砂防技術や開発危険区域の共有化の必要性、気象と地震・火山などの複合災害について液状化現象による宅地の滑動崩落を含めて、防災・減災のあり方について検討する。

日時：平成 27 年 11 月 11 日（水） 18：00～20：00

場所：日本技術士会近畿本部 会議室（近畿富山会館 2 階）
（日本技術士会近畿本部から講座を関係地域本部へ中継）

主催：公益社団法人 日本技術士会 CPD 実行委員会

会費：今回は近畿本部での開催のため有料とします。

正会員（A）1,000 円、準会員（B）500 円、非会員（C）2,000 円

※会費は資料代込みです。当日、会場の受付でお支払いください。

内容：

◆「激化する近年の異常気象」

講師は、気象予報士の草分け的存在です。気象庁異常気象レポート、IPCC 第 1 次作業部会 AR5 から①異常気象の実態と将来の変化、②気候変化に伴う異常気象の発生メカニズム、IPCC 第 2 次作業部会 AR5 から③影響や減災対策について概要をまとめ、④予知技術の進展状況や情報伝達・避難等のソフト対策の課題及び対策などについて、長年の現場経験を踏まえ、言及する。

講師：大藤 克好 氏（株式会社気象工学研究所 技師長）

◆「異常気象に伴う土砂災害」

講師は自社の代表として、主に地質や斜面災害対策等で忙しく活躍している。

近年異常気象が原因で起きる土砂災害について関心もたれているが、歴史的に見れば過去にも豪雨による土砂災害が見られる。技術士は、思い込みを排除し、事実に基づいて現状の評価を論じることが重要である。表層崩壊・深層崩壊・土石流などの豪雨災害や、近年明らかになった地震時の大規模盛土造成地の滑動崩落について説明する。

講師：太田 英将 氏（有限会社太田ジオリサーチ 代表取締役）

+++++++ 11/11 技術士 CPD ミニ講座（第 63 回）申込書 ++++++

氏 名	
フリガナ	
部 門	
所 属	
会員区分	会員（A） 会員（B） 非会員（C）
E-mail	

申込先：公益社団法人 日本技術士会 近畿本部

F A X 0 6 - 6 4 4 4 - 3 7 4 0

E-mail pe@ipej-knk.jp